

会員企業紹介

訪問 インタビュー

令和3年10月、代表取締役就任



兼希工業(株)

代表取締役 細瀧 敦 氏 (伊勢崎支部所属)



▼会社概要

当社は、木造新築住宅向けの省施工・省力化パネルの提案・設計・製造・販売をメイン事業として、一部金属加工を行っています。

昭和二十四年の創業時は、計量米びつや石油コンロなどの開発や製造を行っていました。後に、金属加工にシフトしました。木造新築住宅向けの省施工化パネル事業は、私の入社後に立ち上げた事業です。

▼自己紹介

幼少期から「金属加工」会社の跡継ぎとして育てられ、疑問もなく過ごしてきました。学生時代はバンド活動とバイトばかりの生活でした。今でもジャンルを問わず音楽は良く聞きます。朝、お風呂で音楽を聞きながらリラクセスした状態で一日

のスケジュールを立てています。また、休日は子供との時間を優先して増やすようにしています。

▼入社の経緯

当時、金属加工の受注が海外流失などで減少し、経営危機に直面したことで新規事業に取り組みが必要がありました。その事業立ち上げのため、他社で修行中だった私が呼び戻されました。会社を継ぐ事は理解していましたが、金属加工以外の仕事は想定外だったので、納得できず社長と衝突することもありました。

▼社長就任について

昨年十月に事業を引継いだことで、創業社長のエネルギーの強さと、それを引き継ぎ成長させ、バトンを繋いでくれた先代への責任感を改めて感じています。また、株式を含めて早い段階から事業承継に動いてくれていた有り難みを今になって感じています。

▼採用に関して

私が入社した頃は年上ばかりの組織だったので、中途採用で若返りを図りました。その後、各年齢層の必要性を感じ、定期的な新卒採用にシフトしました。今は新卒採用も見直し、社

内の生産性向上を目的にダイバーシティ雇用を力を入れていきます。国籍や年齢、性別も問わず、活躍できる人財をバランス良く採用するようにはしています。

▼ウッドショックなど

コロナ二年目の「ウッドショック」は、その言葉が認知されるほど業界内外に影響が出ています。木材の価格は最大で四倍程度まで上昇し、今も高止まりしています。あらゆる調達ルートを開拓して木材確保に奔走しました。

会社としては、先が読めない経済状況の中で「会社を継続」させる為に手元資金を集める事を基本対策としました。

▼付加価値創造のための取組

業界の情報を自分から集めることを強く意識しています。コロナにより情報交換の場が減ってしまい、余計にアンテナを高くする必要性を感じています。

また、「経営は下りのエスカレーター」という言葉を頭に置いていきます。立ち止まったら下るだけ。まさにその通りだと思



いますし、その下降スピードは加速してきます。上を見て走り続けるしかありません。

▼今後の展望

本業の強みに相乗効果が得られる展開を考えています。事業で言えば、新たに開発した「サツシ付き壁パネル」の全国的な普及に力を入れていきます。

同友会では、入会以降いろいろなタイピングで悩むを聞いてもらい、経営者として成長させていたのだと思っていま

す。今後は、相談できる立場になって、悩みを抱える方に少しでも恩返しをしていきたいと考えています。

■顔の見える広報誌を目指して今日もどこかで取材中！

所在地 / 伊勢崎市日乃出町1038-38
 連絡先 / TEL 0270-30-5800
 H P / http://www.kaneki-k.co.jp/